

一貫教育校の広場

ニューヨーク学院
(高等部)

女子高等学校

志木高等学校

高等学校

湘南藤沢
中等部・高等部

中等部

普通部

横浜初等部

幼稚舎

ニューヨーク学院生が築く日米の「絆」

●ニューヨーク学院(高等部) 事務室

おたにりゅうた
大谷龍太

慶應義塾の一貫教育校の中で唯一日本国外にあるニューヨーク学院の生徒は、ボランティア活動を通して、現地校をはじめ近隣地域との交流を積極的にを行っています。

2011年3月11日に東日本大震災が発生した際、部活動などを通じて交流を深めてきた近隣の高校やコミュニティから、学院の災害募金へ多くの寄付をいただきました。募金活動をはじめ、生徒による支援の取り組みは複数の地元メディアで紹介されています。

一方、2012年10月末に発生したハリケーン「サンディ」によりニューヨーク州沿岸部が甚大な被害を受けた際には、学院のボランティア部員が、幼児用おむつや毛布などの緊急支援物資を募り、被災地へと送りました。さらに、2013年4月のポストンマラソンでのテロ事件後は、学院のNational Honor Societyメンバーがチャリティーランを開催。集まった募金を、テロ被害者への援助を行う非営利団体へ寄付しました。これらの支援活動は、東日本大震災発生時に近隣のコミュニティから日本へいただいた支援への恩返し的气氛を持ち込めて、生徒が主体となり行ったものです。スーパーマーケットの店頭で買い物客に提供していただいた食



品を寄付するFood Drive、貧困層家庭の子供たちへ衣類を寄付するClothing Drive、そして乳がん撲滅キャンペーンイベントの運営ボランティア(写真)など、災害時に限らず、米国のボランティア精神に則り、地元の高校生と同じように学院の生徒も積極的に取り組んでいます。

剣道部、コーラス部、空手部、ヒップホップダンス部、そして茶道部などに所属する生徒は、日本文化を紹介する地元イベントにも数多く参加しています。こうした日米文化交流に対する志が評価され、過去2年にわたり、学院のキャンパスに隣接したMasterCard Worldwideで開催される、アジア文化紹介イベントに生徒が招待されました。また、Northeast Council of Teachers of Japanese(米国北東部日本語教師会)が主催し、国連国際学校で開催される高校合同文化祭「春祭り」では、バイリンガルのスキルが認められ、学院の生徒が総合同会を務めています。このイベントは、ニューヨークで開催される高校生対象の日米文化交流イベントとしては最大級の規模です。また、日本語を学ぶ高校生が毎年400名以上参加し、学院の生徒は地域コミュニティ活動に積極的に参加し、ときには文化交流における日本大使として日米の「絆」を築いています。